

# 警告 安全のために

## 警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
- 注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



## 行為を禁止する記号



下記の注意を守らないと**火災・感電により死亡や大けが**の原因となります。

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



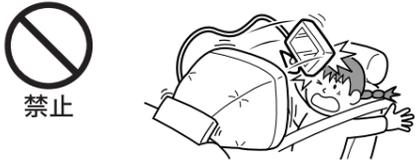
**パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない**

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。



**助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付け**

動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。

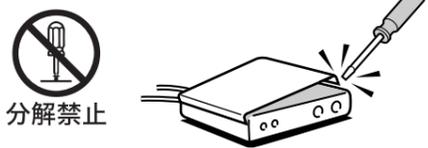


**雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない**

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

**分解や改造をしない**

火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



**運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付け**

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



**取り付け、接続作業をするときは、必ずイグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく**

イグニッションキーをONにしたまま作業をすると、バッテリーあがりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの危険があります。



**規定容量のヒューズを使う**

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記載された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



**内部に水や異物を落とさない**

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



**ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない**

車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

## 注意

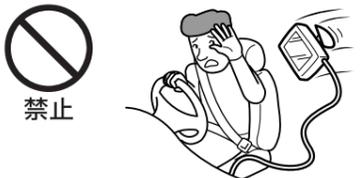
下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

**付属の部品で正しく取り付ける**

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

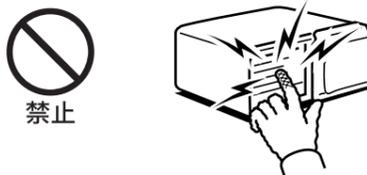
**安定した場所に取り付ける**

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



**ディスク挿入口に手を入れない**

内部で手をはさまれ、けがの原因となります。



# ミニディスクチェンジャーシステム

## 取り付けと接続

お買上げいただきありがとうございます。

**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この「取り付けと接続」および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買上げ店に依頼する  
本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

## MDX-65RF

Sony Corporation © 2000 Printed in Japan

### 取り付け/接続部品(付属)

- |              |                  |                         |
|--------------|------------------|-------------------------|
| ①<br>マジックテープ | ②<br>マジックテープ x 2 | ③<br>圧着式コネクター x 2       |
| ④<br>電源ケーブル  | ⑤<br>取り付け台A      | ⑥<br>取り付け台B             |
| ⑦<br>ネジ x 4  | ⑧<br>ナット x 2     | ⑨<br>両面テープ x 3 (予備1枚含む) |
| ⑩<br>バスケーブル  | ⑪<br>RCAピンコード    |                         |

# 接続

必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。  
別売り品の仕様についてはカタログをご覧ください。お買い上げ店にご相談ください。

カーアンテナプラグの形状がリレーボックスのジャックに合わない場合は、下記のように接続してください。

日産ダイバーシティ採用車の場合  
別売のアンテナ変換コードXA-82が必要です。(車種によりアンテナの端子の形状が異なる場合があります。)

欧州車の場合  
別売のアンテナ変換コードRC-185が必要です。(車種については、お買い上げ店にご相談ください。)

アメリカ車の場合  
別売のアンテナ変換コードRC-150GMが必要です。(車種については、お買い上げ店にご相談ください。)



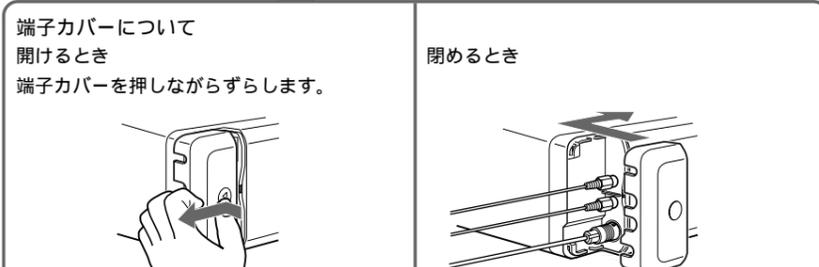
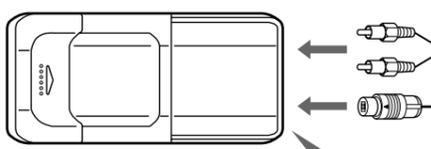
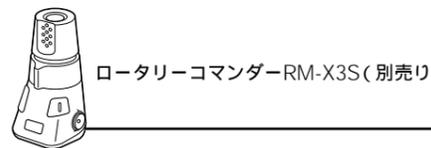
カーオーディオがダイバーシティアンテナの場合は、下記のように接続してください。

トヨタ車の場合  
大きい方のアンテナコネクターと接続してください。

日産車の場合  
別売のアンテナ変換コードXA-82が必要です。(車種によりアンテナの端子の形状が異なる場合があります。)

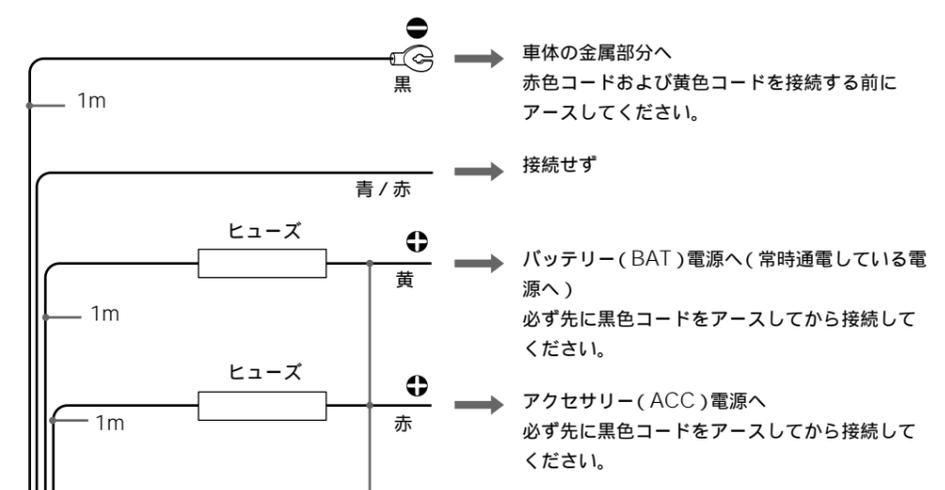
欧州車の場合  
別売のアンテナ変換コードRC-50が必要です。(車種については、お買い上げ店にご相談ください。)

アメリカ車の場合  
別売のアンテナ変換コードRC-160GMが必要です。(車種については、お買い上げ店にご相談ください。)



複数のMDチェンジャーやCDチェンジャーを接続する場合には、別売りのソースセクターXA-C30が必要です。接続の際には、ソースセクターの「取扱説明書」をご覧ください。

\* ナビシステムのアンテナブースターなどを接続するときは、配線の順序にご注意ください。ナビシステムにアンテナブースターを接続してから本機を接続してください。順序を逆に接続すると、ナビシステムのVICSやD-GPSが受信できなくなります。



### 圧着式コネクターの使い方

車の電源コード  
本機の電源コード

車の電源コードが細い場合、接触が不十分になることがありますのでご注意ください。下の図を参考にして車の電源コードに接続してください。下の図は代表例です。これ以外のコネクターの場合は、お買い上げ店におたずねください。

日産車用の10ピンコネクターの例('93.8以前)

電源ACC ONで12V  
バックアップ電源

日産車用の10ピンコネクターの例('93.8以降)

電源ACC ONで12V  
バックアップ電源

トヨタ車用の10ピンコネクターの例

電源ACC ONで12V  
バックアップ電源

ホンダ車用の16ピンコネクターの例('97.8以前)

電源ACC ONで12V  
バックアップ電源

ホンダ車用の20ピンコネクターの例('97.8以降)

バックアップ電源  
電源ACC ONで12V

## ショート事故を防ぐために

本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして、すべての配線をすませてから行ってください。先に電源コードを接続すると、ショートにより感電や製品の故障の原因となります。

## 電源コードの色分け

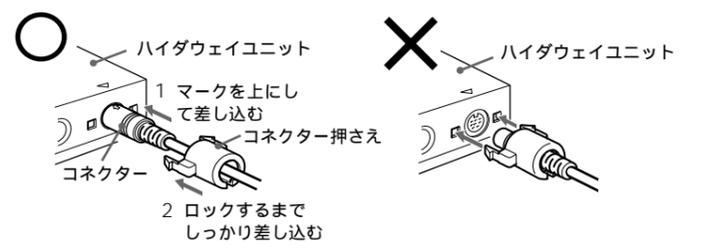
赤色コード	アクセサリ(ACC)電源入力コード。 車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れて、ACCにすると電源が入るところ(ラジオ回路など)につながります。
黄色コード	バッテリー(BAT)電源入力コード。 車のキーに関係なく、常時通電しているところでヒューズの容量値以上の電源が取れるところにつながります。イグニッションキーをOFFにすると、メモリー保持用の電流だけが流れます。
黒色コード	アース用コード。 車体の金属部分に確実にアースしてください。

## ヒューズ

電源コードの中間にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズケースに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。

## ディスプレイコネクターの接続についてのご注意

図の様にコネクターの印を合わせて挿入した後に、コネクター押さえを挿入してください。同時に挿入すると故障の原因になります。



# 取り付け

## 取り付け場所

次のような場所に取り付けないでください。

### ディスプレイ

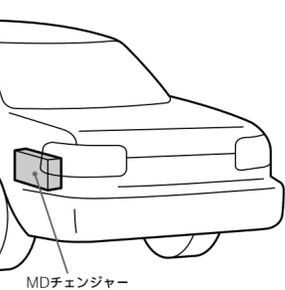
- 運転の妨げになるところ
- 同乗者の安全を損なうところ
- グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになるところ

### MDチェンジャー

- ほこりの多いところ
- しっかりした取り付けのできない振動の多いところ
- 配線コードやパイプが下を通過しているところ
- トランク内またはトランク下にあるスベアタイヤ、その他の備品などを傷つけるおそれのあるところ

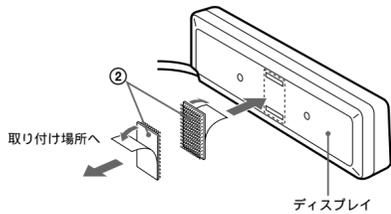
### MDチェンジャー、ハイダウェイユニット

- 温度が55℃以上になるところ
- 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ
- 必ず、付属のネジ類をお使いください。他のネジを使用すると故障の原因となることがあります。



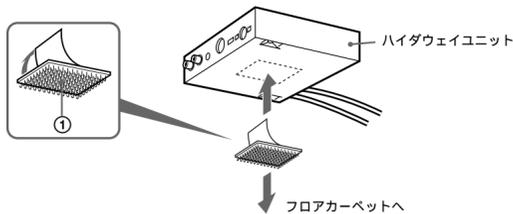
## ディスプレイの取り付け

マジックテープを貼り付ける場所をきれいにし、②で運転の妨げにならない、見やすい位置に取り付けます。



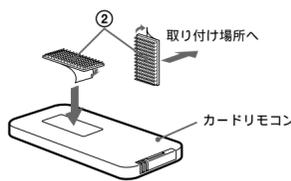
## ハイダウェイユニットの取り付け

マジックテープを貼り付ける場所をきれいにし、①でシート下などのフロアカーペットに取り付けます。



## カードリモコンの取り付け

貼り付ける場所をきれいにしたあと、マジックテープ②を使って運転の妨げにならない位置に取り付けます。



### ご注意

取り付け位置を決める前に、その場所からカードリモコンでシステムが操作できることを確認してください。

## MDチェンジャーの取り付け

グローブボックスやコンソールボックス内に取り付ける

### 1

紙をはがし、両面テープ⑨を本機底面に貼り付ける。

### 2

取り付け面の汚れをふき取り、本機を貼り付ける。

取り付け面へ

ご注意

- 両面テープには強力な粘着力がありますので、貼り付けるときは、本機の操作やグローブボックス、コンソールボックスのふたの開閉の妨げにならないことを確認してください。
- グローブボックス内に本機を取り付ける場合、グローブボックスを開めたときの本機の取り付け角度が0-90°以内になることを確認してください。

## フロアなどに取り付ける

### 1

取り付け台A⑤をネジ⑦で本機に取り付ける。

縦に取り付ける場合

横に取り付ける場合

### 2

取り付け面の汚れをふき取り、本機と取り付け台B⑥を合わせ、固定位置を決めてから⑥を貼り付ける。

カーペットの下に

### 3

本機をいったん取りはずす。

### 4

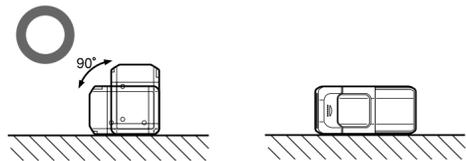
カーペットにカッターナイフなどで切りこみを入れる。

### 5

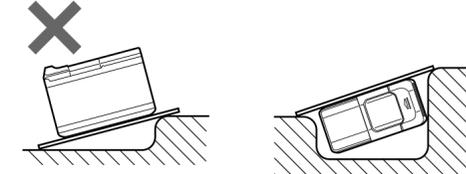
ナット⑧で取り付ける。

## 取り付けの角度について

本機の取り付け角度は上向きに0-90°です。左右は水平にしてください。



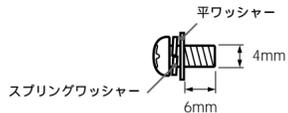
左右に傾けたり、天地を逆にして取り付けないでください。



## 付属のネジを使う

必ず付属のネジ⑦で取り付けてください。他のネジで取り付けの場合は、次のサイズのものをお使いください。

その他のネジ  
最大寸法 M4 x 6mm

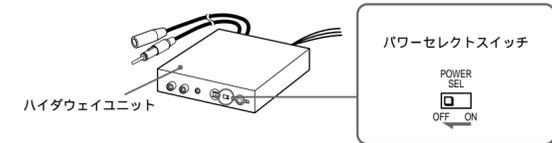


これより長いネジを使うと故障の原因となります。

## 初期設定が必要なスイッチ

### パワーセレクトスイッチ

イグニッションキーにアクセサリポジションのない車でお使いになる場合、ハイダウェイユニット側にあるPOWER SELスイッチをOFFの位置に合わせてください。POWER SELスイッチがONの位置のままお使いになると、電源が切れずにバッテリーが消耗します。POWER SELスイッチの位置を換えた時は、必ずディスプレイの右側にあるリセットボタンを押してください。

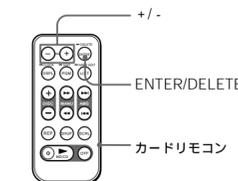


### ご注意

パワーセレクトスイッチをOFFでお使いの場合は、停止状態(ディスプレイの表示が消えている状態)からリモコンで本機を起動させることはできません。電源を入れるには、ディスプレイのPOWERボタンを押してください。

## 送信周波数を切り換える

本機では、MD/CDをFMチューナーで聞きます。そのため、聞いている周波数にFM放送があると、MD/CD再生中に雑音が入ることがあります。その場合は、本機からFMチューナーへ送る周波数を切り換えてください。初期設定では88.3MHzに設定してあります。



1 ENTER/DELETE ボタンを2秒以上押す。  
周波数切り換えモード(初期値は88.3MHz)に入ります。

2  $\ominus$  /  $\oplus$  を押し、周波数を選ぶ。  
押すごとに周波数は次のようになります。

- $\ominus$  : 88.3MHz → 89.9MHz → 89.7MHz → 89.5MHz → 89.3MHz → 89.1MHz → 88.9MHz → 88.7MHz → 88.5MHz
- $\oplus$  : 88.3MHz → 88.5MHz → 88.7MHz → 88.9MHz → 89.1MHz → 89.3MHz → 89.5MHz → 89.7MHz → 89.9MHz

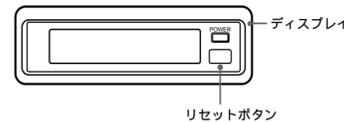
3 ENTER/DELETE ボタンを2秒以上押す。

### ご注意

切り換え後は、FMチューナーに登録(プリセット)する受信周波数も変更してください。

## 取り付けと接続が終わったら

- ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことを確かめてください。
- 必ず、ディスプレイの右側にあるリセットボタンをつま楊枝の先などで押してください。ただし針のようなもので強く押すと故障の原因になります。



故障かな? と思った場合は、接続をもう一度確認するとともに、取扱説明書の「故障かな? と思ったら」をご覧ください。

### オルタネーターノイズが発生する場合は

オルタネーターノイズ(エンジン回転を上げたときのヒューンという音)が発生する場合には、別売りのノイズフィルター(XA-50)を取り付けるとノイズが低減されます。